

保護者や地域と共に創ろう！ やる気 やさしさ あふれる 笑顔の花結う相知小 ONE TEAM！
～おちついて うでくんで ちえを出し合う 相知っ子～ 「にこ・きび・あい・はき・どん」



この指とまれ！

唐津市立相知小学校
学校だより No. 4
令和7年6月2日発行
文責：校長 佐伯美和



右上のQRコードを読み取っていただくと相知小学校ホームページからもご覧いただけます。

6月に入りました。1学期前半は、1年生を迎え、その歓迎行事・スタンプラリー・5年生の宿泊体験学習・6年生の修学旅行・1～4年生のバス旅行…と大きな行事が目白押しでした。と同時に学級づくり（1年間の見通しをもった学級内での計画・約束づくり・仲間づくり等）、この学年で学ぶべき学習や生活習慣・「人として」大事な態度・集団での規律等々の基盤づくりを行ってきました。1学期を振り返り今からは、「じっくり・確実に」を目標に本格的な実践に入っていきます。

6月8日（日）は唐津市教育の日…保護者の皆さんは勿論、広く地域の方々にも学校へ足を運んでいただき、子どもたちの新学年で学習や活動に向かう様子を観ていただきます。大きな行事を行った子どもたちは、既に、ちょっぴり成長しています。また、午後からは講演会があります。（演題変更：「若者の現在と人権について」～問題を抱える子どもたちの「人生転換」に関わって～）

今月から研究授業や総合的な学習の時間での地域学習が始まります。さらに、クラブ活動、水泳の授業、6月27日に行う平和集会に向けた学習もスタートします。多くの方のサポートを受けながら、ますます充実した学校生活になっていきます。

6月と言えば梅雨の時期…じめじめした不快な日も多くなりますが、「早寝・早起き・朝ごはん」で、季節の変化に負けない健康な状態を保てるよう、ご家庭でのサポートもよろしくお願いいたします。



今、学校下の踏切付近の工事に伴って、広い坂道（車道）が通れなくなっています。送迎をされるときは、天徳の丘の方からか、妙音寺横の迂回路かのどちらかの道路を利用し、第2駐車場で降りにご協力ください。中学校体育館横は徒歩で通る中学生の、また、小学校の敷地内は登下校時の小学生の安全確保のため、通行・侵入はご遠慮いただいております。送迎されるご家族の方にもお伝えいたしますよう、お願いいたします。



6月4日は、虫歯予防デーです。今年度も歯科検診がありましたが、その時、歯科医の空閑先生からこんなお話を伺いました。

「乳歯がぐらぐらしている子が何人もいます。ぐらぐらしてきたら、歯医者に行って抜いてもらった方がいいです。現代の子は、自然にはなかなか抜けません。そのままにしておくと歯並びが悪くなります。すると、噛み合わせも悪くなります。噛み合わせが悪くなるとしっかり食べ物が噛めず、内臓の疾患に繋がります。」

昨年度、歯科検診後、歯医者への受診の必要なお子さんの受診率は20%以下だったそうです。歯はそのままにしておいてよくはありません。乳歯が動いているお子さん、受診をすすめられている子おさんは、できるだけ早くに歯医者への受診をしてください。



プールでの学習が始まります。時々あるのが、下着の持ち主が不明になること。持ち物への



記名を、今一度ご確認ください。また、水の事故防止のため、水泳学習がある日の朝は、保護者さんによる健康観察が必要になります。それがないと万が一のことを考えてプールでの水泳学習はできません。ご確認ください。

6月のお話より

6月の全校集会では、5月13日に亡くなったウルグアイの大統領、ホセ・ムヒカさんのお話をしました。彼は、「世界で一番貧しい大統領」と言われていました。給料の大半を貧しい人のために寄付し、質素な暮らしをしていました。普段は奥さんと農業をしながら田舎で暮らし、古びた愛車を自分で運転して大統領の仕事に行くという生活をしていました。

そんなムヒカ大統領は人類の幸福とは何か、深く問いかけていました。「貧乏とは少ししか持っていないことではなく、無限に欲があり、いくらあっても満足しないことです」と言い、「社会の発展が、幸福を損ないものであってはならない。発展とは人間の幸せの味方でなくてはならない」と訴えていました。「人と人との幸せな関係を結ぶこと。子どもを育てること。友人をもつこと。地球上に愛があること。発展は、こうしたものを創ることの味方でなくてはならない」と。ムヒカ大統領こそ、一番豊かな大統領だったのかもしれない。

私たちは、お互いに温かい存在であることを大切にしています。居心地のよい環境でこそ、安心して頑張れます。思いを伝え、お互いに納得がいくまで話し合うことはとても大切です。相手を非難し、傷つくことを言ったり、嫌な思いにさせる言い方をしたりしても、何も解決しません。ムヒカ大統領のように、学校で学びながら、発展する、つまり、知識やできることが増えれば増えるほど、謙虚になり、周りの状況を観て温かい言動をすることができる、そんな存在になれるといいなと思います。子どもたちをそんな子に育てていきましょう。

「強い人＝本当に優しい人」だと思います。

絵本「世界で一番貧しい大統領のスピーチ」

くさばよしみ 編 中川学 絵 (汐文社) より

5月の様子を紹介します！

【1年生を迎える会・スタンプラリー】5月2日（金）



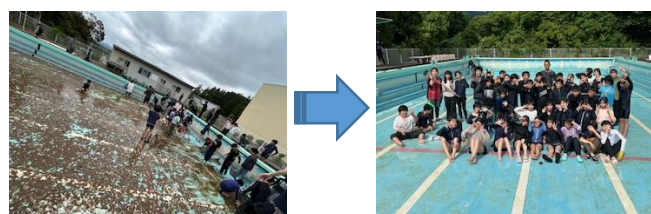
1日目は、あいにくの雨で室内で過ごしました。まずはインドアビンゴ。班で協力して、問題を解きながらお題の物を探し当てます。その後は、ストーンアート。思い思いに石に絵を描きました。夕飯は自分たちで火をおこし、ご飯を炊き、カレーを作りました。絶品でした！！夜はキャンドルの集い。ろうそくの火を灯し、幻想的な中で仲間との誓いを宣言しました。

2日目は、お天気が回復しました。朝の集いに参加し、食堂で朝食をとった後、カッター体験ができました。多少風はありましたが、それにメゲず、みんなで気持ちを合わせてオールを漕ぎ、無事に港に戻ってきました。

宿泊学習後の5年生は、誰もが「学級の空気が変わったね！」と気付くほど、さらにいい方向に進み始めています。体験をその後に生かすってこういうことですね。

5・6年生を中心に縦割り班で協力しながら、クイズを解いたり、スタンプラリーで中山公園に向かっておいしいお弁当を食べて遊んだり、楽しい一日を過ごしました。あおがし応援団の方々は道路での見守りをして下さり、安心して安全に学校を出て、目的地に向かい、帰てくることができました。

【プール掃除】5月20日（火）

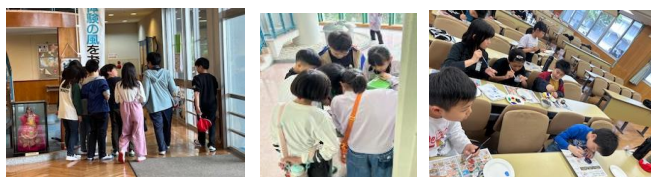


Before

After

こんなに真っ黒で汚れていたプール（左）が、5・6年生の頑張りのおかげで、こんなにきれいになりました（右）。感謝しながら、しっかり水泳の学習に取り組みたいものです。泳げることは自分の命を守ることにつながります。しっかり練習しましょう！

【5年生宿泊体験学習】5月22日（木）～23日（金）



毎月1日の「ノーメディアデー」…皆さんのご家庭では、どう、お過ごしですか？一つの過ごし方として、絵本の読み聞かせを紹介します。

絵本には「魔法の力がある」そうです。6年生が先週行った修学旅行、長崎市のグラバー坂の真ん中ほどに「祈りの丘美術館」という場所があります。そこには絵本がいっぱいあって、中に入って読むことができます。買うこともできます。子どもの年齢に応じた絵本の配本もしていて、私も我が子たちを育てている間、それを利用していました。絵本は子どもが自分で読む本というより、子どもが大人に読んでもらうことで生命が通う本だといわれます。絵本＝宝の箱。その宝の箱を開くには、特別な言葉が必要です。その特別な言葉というのが、絵本を読んであげる大人の言葉なのだそうです。

絵本は次の3つのよいものをもたらします。

- ① 絵：子どもは絵本を読んでもらいながら、一心に絵を見えています。生まれて初めて出会う美術とも言われています。
- ② 言葉：洗練された美しい日本語によってつづられています。考え、思い、学び、伝えるための手だてである言葉の力は大切に、大人からの語りかけや絵本を読み聞かせるという温かい触れ合いを通して、より豊かに得られていきます。
- ③ 物語：絵と言葉によってつづられるのは、物語です。その物語は、子どもの成長に応じたものであることが大事で、真に子どもの心の世界と響き合っていることで、成長する子どもの心を励ましていくそうです。

読み聞かせは、子どもを本と仲良しにさせ、「生きること」を語り、そして何より、「愛の表現」なのです（「祈りの丘美術館」ぶっくらぶ冊子より）。

ノーメディアデーに、絵本の読み聞かせはいいかですか？